

電気柵設置のポイント！

【電気柵ってなに？】

心理的なイノシシ対策

通電線を柵状に設置したもので、電気ショックによりイノシシを撃退する柵

(学習によって柵を回避するようになった野生動物の心理を利用した防護柵)

【設置のポイント】

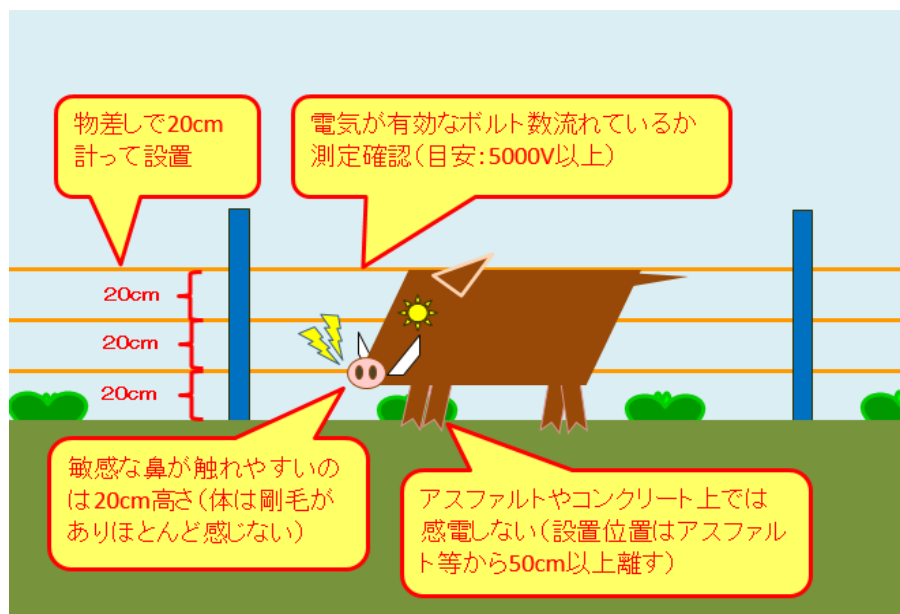
- ① 設置や維持 管理がしやすい設置ルート を選定しましょう
- ② イノシシの足がアスファルトやコンクリート上では感電しません。足が土の上になることを想定して設置しましょう

(感電は、イノシシの鼻に電線が触れて足から地面に電気が通っていくことで起こります)

- ③ 柵の高さは、イノシシが 鼻で触れやすい地面から 20 cm 間隔 で3段設置しましょう。

(間隔は広くなりがちなので注意、状況により段数を調整してもよい)

- ④ 下草や地面に通電線が触れると漏電して電圧が下がるので、通電線には物が触れないように しましょう



鳥獣害対策用の製品を使用しましょう！

【安全のために守るべきこと】(法令遵守！)

- ① 周囲の人が容易に視認できる位置や間隔、見やすい文字で危険表示を行うこと。(子供でも判読可能であること)
- ② 30V以上の電源(家庭の 100V コンセント等)を供給する時は、電気用品安全法の適用を受ける(PSE マーク付き)電源装置を使用すること。
(上記に該当しなければ通常、電池式、バッテリー式、ソーラー式には PSE マークは不要)
- ③ 公道沿いなどの人が容易に立ち入る場所に施設する場合で、30V以上の電源から電気を供給するときは、危険防止のために、15mA 以上の漏電が起こったときに、0.1 秒以内に電気を遮断する漏電遮断器(ブレーカー)を設置すること。
- ④ 容易に開閉できる箇所に、専用の開閉器(スイッチ)を設置すること。

きけん！！

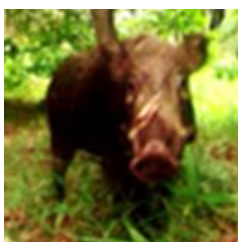
かんでんちゅうい
感電注意！

(表示例)

【柵管理のポイント！】

管理できないと
入ってきます

- ① 侵入防止柵は管理しないとイノシシに破られます。定期的に見回りや補修・補強を行いましょう
(柵の外側を管理道にすることで大幅に管理はしやすくイノシシが近寄りにくくなる)
- ② 破損や隙間等を見つけたら、速やかに補修・補強しましょう
(イノシシは侵入できた箇所から侵入を繰り返そうとするため補修・補強が重要)
- ③ 雑草が繁茂したら刈り取りましょう
(柵に雑草などが触れると漏電で電圧が下がるとともに様々な動物が近寄りやすくなる)



あきらめないで！

管理できている地域は被害軽減に成功しています！